



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1995-96年度国際ロータリー・テーマ 国際ロータリー会長 ハーバート・グラハム・ブラウン



Act with Integrity
Serve with Love
Work for peace

〈本日のプログラム〉 ロータリー雑誌月間

第 405回 平成 8年 4月 5日(金)

- 1. 点 鐘
- 2. ロータリーソング
- 3. 食 事
- 4. 会 長 の 時 間
- 5. 幹 事 報 告
- 6. 各 委 員 会 報 告
- 7. 会 員 卓 話 土屋光弘君
- 8. 点 鐘

国歌斉唱

「四つのテスト」唱和

「手に手つないで」

セレモニー

会 長 藤 堂 孝 一
副会長 斎 藤 芳 夫
幹 事 福 井 輝 文
会 計 中 武 靖 雄
会報委員 垂 水 敏 雄

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 ☎0985-73-0015

事務局 宮崎郡佐土原町大字下田島20614-9
佐土原町建築業協会 内

☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170

第404回例会記録

(1996. 3. 29)

☆会長の時間

藤堂孝一君

皆さん今晩は、本日は第404回例会です。観桜例会ということで、宝塔山公園を例会場に予定していましたが、あいにくの雨天のため、正岡会員にお願いいたしまして大光寺を拝借させていただくことになりました。正岡ご夫妻には急々のことで大変ご迷惑をお掛けしまして申し訳ございません。諸準備にご高配賜り、衷心から御礼申し上げます。

今宵は宝塔山の夜桜を思い浮かべながら、どうぞごゆっくり杯を酌み交わし、ご歓談されまして、ますます親睦を深めていただきますようお願い申し上げます。

☆幹事報告

福井輝文君

○例会変更通知

*日向中央RC 4月3日12:30
米の山(観桜会)

*日向地区3RC合同例会のために、
下記のとおり変更

日向東RC 4月16日を15日に

日向中央RC 4月17日を15日に

合同例会の開会時間 12:00

合同例会場日向市文化交流センター

☆会長エレクトより

伊東忠寛君

去る3月24日(日)に鹿児島市で開催されました、1996~1997年度クラブ会長エレクト研修セミナーに出席

しました。詳細は後日ご報告いたしますが、次年度地区運営方針は次年度RI方針に沿うということでした。それを汲んで、各クラブの次年度運営方針を検討するよう要請がありましたので、来週の例会終了後に、クラブ役員・各委員長協議会を開き、次年度運営方針についてのご相談をしたいと思っております。

☆出席報告

委員長 恒吉正志君

会 員 数	32名
H C 出席者数	25名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	78.1%
メークアップ者数	3名
修正出席率	87.5%
欠 席 者 名	佐野・藤田・吉田・松田

☆観桜会

池田直前会長の乾杯の音頭で観桜懇親会が始まりました。

鍋物料理でほどよく酔いが回り、お互いに桜顔を眺めながら、あちこちで和やかな談笑が続きました。

郡司親睦委員長の万歳三唱でお開きとなり、後は希望者は二次会~三次会へ繰り出し、深夜まで大いに佐土原ロータリークラブの意気を示していただいたそうです。



雑誌月間で す また少し書かせていただきます
——『友』編集部

どうして『友』を読まなければいけないのか

「どうして『友』誌を読まなければいけないのか、その理由を教えてください」というご質問が最近ありました。意表をつくご質問ではありません。ガックリするご質問でもあります。

これに対して編集部としては「皆さんがロータリアンとしての知識・哲学を一層深め、同時にまた会員同士の親睦を深めるのに役立つようにとの方針で編集している」とお答えするほかありません。

一方また「『友』誌は優等生の編集でとっつきにくい、かたい、面白くない」というご意見も相変わらずあります。

なにしろ読者の皆さんは、優等生中の優等生で、しかもなお一層の優等生たらんと精進されている方ばかりです。そのためどうしてもこうなってしまう」とお答えしたらご納得いただけるでしょうか。

仕事もゴルフもあとまわしで

どんなに優等生でもイキヌキは必要です。そういうイキヌキをするものはほかにたくさんあります。娯楽小説、テレビ、ゴルフなどなど……

小説といえば、当代人気作家の一人池波正太郎先生の『鬼平犯科帖』などはいかがでしょうか。これなど手に取ったが最後、ぐいと引き込まれ、仕事もゴルフもあとまわしにして読みたくなるといった類のもです。この『犯科帖』にかぎらず、池波先生の小説は非常に人気があります。これは内容が面白い、文章が味わい深いということもさることながら、ほかに大きな理由があると思います。



先生の本はどの出版社から出されたものでも、字の組み方が非常にゆったりとしています。文章も比較的短く区切ってあります。段落が多くとってあります。見るもの読むものが多過ぎる現代人にとってこれは非常に助かります。手に取って見ただけで読む気が起きます。一気に読んでも目が比較的疲れません。

その逆の見本がハズカシながらわが『友』誌です。ページ面に活字がビッシリ、見ただけで読む気をなくします。読者は奉仕の理想を追い求め、実践しようとする方々ばかりのはずです。したがって記事内容のかたさは覚悟されているはず。まさか『友』誌に『鬼平犯科帖』のような内容の記事ばかり期待されてはいないと思います。

そう考えて、近ごろはせめて横組みの記事、とくにR I 指定記事ぐらひはなんとかゆったり組んでみたいと努めているつもりです。十数行分ぐらひの間隔で1行分アケるようにしています。これでせめて行アキの部分まではガマンして読んでいただけるのではないかと、そこまで読んでヒトイキついて、またその次の行アキまでと続けて行ったら、最後まで読んでいただけるのではないかと、という切ない気持ちをこめてそうしているわけです。こういうやり方は本来編集の常道にはありません。優等生の編集者はこういうことはしないはず。それでも読む気の起きない方には、せめて小見出しだけでもと、なるべく小見出しをつけるようにしています。

記事のタイトルまわりのデザインもなるべく目立つものをと心がけています。原稿の仕上がりが締め切りぎりぎりの場合も多く、考える時間がなく、なかなか思いどおりにはいきません。なるべく記事内容にマッチしたものをと心がけていますが、デザインのためのデザインとなってしまうこともあります。またこの種のデザインを多用すると、かえってウルサイのではないかと、その辺も考えているつもりです。

イキヌキはほかにもあります。最近ではマンガも連載しています。5月号からは短歌愛好者のご要望にこたえ、馬場あき子先生、佐佐木幸綱先生という当代超一流の両先生を選者にお迎えすることになりました。

経済のこと経営のことも載せてほしいとお望みの読者もいます。そういう方のために、その種の記事もできるだけ掲載を心掛けています。

ともあれ11万人を超える皆様のご年齢、ご専門、ご趣味がそれぞれマチマチで、すべての方に喜んでいただける雑誌をつくるのは至難の業と思います。

いかように工夫しても、まだまだという部分が常に多くあることは肝に銘じております。

それはそれとして、朝礼の話題に『友』誌の記事を引用して下さる方もいます。『友』誌を通じて同姓同名の会員を見つけ、知己を広めたという方もいます。『友』誌を見せられて即座に入会を決心したという方もいます。

私どもはこういう方々の存在を知って、編集にやりがいを見だし、なお一層の努力を続けたいと考えています。

4月は雑誌月間

地域雑誌も保管しています

雑誌は、その日その時の出来事を報じる新聞とはちがいで、新聞の見出しになったような事柄を、じっくりと考え、温めながら掘り下げたものを編集し、記事にしています。

私の場合は、毎月雑誌と定期刊行物を合わせて48種類が届きます。しかし、そのうち保管しておくのは4種類だけです。私の趣味の雑誌と科学ジャーナル、週刊コンピューター・ニュースそれにロータリアン誌の4つです。ロータリアン誌取納用の本棚がありますが、この棚にはレビスタ・ロータリアン誌（ロータリアン誌のスペイン語版）と各国のロータリー地域雑誌も一緒に取め、世界のロータリーの動きに遅れないよう、ひんばんに目を通して見ます。

たとえば自分が「50万の大衆の前にただ1人立たされて、それら大衆から矢のような質問を浴びせかけられる」といったような場面を想像してみてください。ロータリアン誌の投稿欄にはこういう場合によく似た厳しい質問がしばしば載っています。他にもいろいろな意見やアイデアが載っています。編集部に見てみると、「投書はたくさん来るが、毎月2ページ相当しか載せられない」とのことです。

批判はあるが大道はずさず

さて今度はロータリアン誌広告部のマネジャーになったとしたらどうでしょう。広告のなかにはロータリアン誌向きでないものも数多くあります。タバコとかキャンブルの広告は載せられません。そのほかロータリーの品位にかかわるとされるような種類の広告は掲載できません。毎月一定量の広告は確保しなければならないのに、しばしば掲載を断らなければならない。マネジャーの気持ちはどんなものでしょうか。

ロータリアン誌の各ページは、理想と情熱をたかめ、知識を豊かにし、あるいはアイデアをかき立てるような記事で埋まっています。編集内容に対する批判はあります。そうしたものを考慮しながら、しかもロータリーの大道をはずれることのない編集が続けられています。

ロータリアン誌の購読者リストには、国連加盟国数より多い、172カ国もの人々が記載されています。同誌の記事はリーダーズ・ダイジェストはじめ全世界の多数の雑誌、定期刊行物にひんばんに転載され続けてきました。

このロータリアン誌、レビスタ・ロータリアン誌そして26のロータリー地域雑誌は、さまざまな方法で、そしていろいろな角度からロータリーの活動を、姿を、そしてロータリアンの真心を世界の人々に伝え続けているのです。

ロータリーを楽しもう！